

60年の歴史を経て 新たな焼尻めん羊牧場へ

民間事業者に牧場を継承

焼尻めん羊牧場空撮写真(平成25年頃)

羽幌町営焼尻めん羊牧場のあゆみ

- 昭和37年 焼尻島の漁家へ町有めん羊12頭を貸与
- 昭和41年 町営牧場として開始
- 昭和42年 羊種「コリデール種」104頭導入
- 昭和44年 羊種「サフォーク種」100頭をオーストラリアより輸入
- 昭和61年 サフォーク種第1号純血生産基地に指定
- 平成20年 指定管理者制度による管理(H31.3.31まで)
北海道洞爺湖サミット食材としてラム肉を提供
- 平成31年 町直営による管理運営を再開
- 令和5年 牧場施設等すべてを「㈱焼尻めん羊牧場」へ継承

羽幌町営焼尻めん羊牧場は、漁業者の不漁対策として町で所有していためん羊を漁業者に貸与したことをきっかけに地域の畜産振興を図る牧場として運営が始まり、そこで生産される羊肉は道内外で高く評価され、本町の貴重な観光資源となってきました。

しかし、近年の牧場運営は飼育員の確保に苦慮し、存廃も含め対応を検討してきましたが、複数の民間事業者から牧場を継承したい旨の申し出があり、この度、その一者を継承先として選定し、牧場施設等を無償または減額して貸与および譲渡し、継承したところです。

今後は民間事業者によって、焼尻めん羊牧場の運営が継続されることとなりましたが、地域の産業として、また、貴重な観光資源として更に発展されることを期待します。

(故)工藤敏郎元北海道議会議員のご遺族から寄附金をいただきました

昭和54年から羽幌町議会議員を4期、北海道議会議員を5期務められた(故)工藤敏郎氏のご遺族美奈子夫人から、町政全般に活用してほしいとの意向で寄附金をいただきました。

ご厚意に感謝を申し上げますとともに心よりお悔み申し上げます。